



昭和陸運

原田 真梨さん

加藤真衣子さん

昭和陸運(荒木栄作社長、広島県福山市)は社会の多様化を念頭に、従来の物流企業の枠を超えて女性が活躍できる環境を整えている。国際事業部の加藤真衣子さん(30、左)と、経営

企画室の原田真梨さん(38、右)は、それを象徴する存在だ。高校からオーストラリアで過ごし、前職でも貿易に携わっていた加藤さん。英語と専門知識を駆使しながら、欧州や中東、アジアの各国から工業製品の原材料を調達し、主にアジアへ販売。間接貿易

## 女性が活躍できる環境

の営業として、年間の取り扱いは1億円に及ぶ。「コストを抑えることが命題だが、安いだけでは通用しない。リスクを回避しながら、世界を相手に駆け引きするのが醍醐味」と語る。

原田さんは、メーカーで現場管理を行っていた経歴を生かし、営業本部と管理本部を結ぶ部署で社内外でのコミュニケーションを円滑にする業務を担当。異業種出身かつ女性特有の視点と感性で、多様な人が働きやすい職場環境や福利厚生をの仕組みづくりを行っている。「マンパワーが重要な世界だけに、皆がやりがいや責任感を持てるよう、ソフトな意識改革を促したい」と話す。

「ビジネス案件が多すぎて、時間がいくらあっても足りないくらい」(加藤さん)、「現場の声を聞く機会をもっと増やしたい」(原田さん)と、2人とも向上心にあふれている。

(矢野孝明)